

ごみ減量の推進に有効な取組み事例

1. 周知・啓蒙

1) 家庭での生ごみ等の減量

- (1) 食材・食品の「適量購入」、食材の「使いきり」、料理の「食べきり」、調理時の「適切除去」により、食品ロスを発生させない
- (2) 発生した生ごみは、各家庭で、消滅型生ごみ処理容器キューロ（春夏秋）で「消滅化」、またはコンポスト（通年）で「堆肥化」する
- (3) 電動生ごみ処理機等で「乾燥」による減量化を図る
- (4) 燃やせるごみとして排出する際には、きちんと「水切り」を行う

2) 家庭でのごみ分別の徹底（古紙、雑がみ、古着、プラスチック類）

- (1) 古紙、雑がみ、古着の分別を徹底し、古紙回収業者によるリサイクルにつなげる
- (2) プラスチック製容器包装は簡単な水洗いにより汚れを落とした上で、できる限りリサイクル可能な資源ごみとして排出する

3) 家庭でのリユース

- (1) まだ使える不要品は、城南衛生管理組合が実施する環境ふれあいひろばへ持ち込む、市町のリユース事業を活用する、リユースショップやフリマアプリなどを活用して「売却」する、または家族・友人などに「譲渡」する

4) 市町イベント、ホームページ、広報紙等による「ごみ減量」について継続的な周知啓発の実施

- (1) 機会
 - ①市町または組合が主催する各種環境関連イベント
 - ②ホームページ、広報紙等
 - ③出前講座
- (2) 内容
 - ①ごみ減量の必要性や日常のごみ分別について
 - ②住民・事業者による分別排出の徹底
 - ③経済的インセンティブを活用した減量施策の公平性と効果 など

5) 市町ホームページでの廃棄物量、不適正搬入状況の周知

- (1) 各市町または組合の廃棄物量の前年度比等を表示
- (2) 住民から排出された分別のできていない不適正廃棄物の写真等による周知
- (3) 処理困難物（リチウムイオン電池、水銀含有廃棄物等）の周知及び回収拠点の充実

6) 住民自らがごみを考える地域座談会、ミニサロン等の開催

- (1) ごみ減量の必要性、各市町のごみの現状などを説明し、住民にごみ減量を「みんなごと」として考えてもらう場の創出。ごみ減量を「みんなごと」とできるような機運醸成

- (2) ごみ減量に関する住民からの意見、アイデアの発掘と発信
- (3) コミュニティーセンター、学校、自治会等で開催

7) ごみ分別区分について、3市3町統一の検討

- (1) 各市町で異なるごみ分別区分及びごみ辞典等の統一を検討
- (2) 各市町共通のごみ分別アプリ及び排出区分判定アプリの開発、周知

8) インスタグラム、フェイスブック等SNSでの情報発信

- (1) 3R、省エネ、再エネ、カーボンニュートラルについて画像・動画で情報発信

9) ごみステーション等における排出指導の実施

- (1) ごみステーションでの立会い・排出説明を行うことにより、住民へごみ減量の周知を図る

10) 「出前講座」や学校教育を活用した周知啓発

- (1) 小学校4年生が実施する社会科見学を継続して実施し、ごみの現状や減量方法などについて学びの場を提供し、教材や夏休みの自由研究の題材として活用してもらう
- (2) 「出前講座」の積極的な活用
- (3) 組合施設「クリーンパーク折居」自由見学の継続実施

2. 3Rの推進

1) 生ごみ処理容器「キエーロ」の普及拡大

- (1) 「キエーロ」発案者を招いたシンポジウムの開催
- (2) 住民向け学習会の開催

2) コンポスト・生ごみ処理機等の導入補助制度の拡充

- (1) 生ごみ処理機等の補助制度拡充

3) リユースの促進

- (1) 地域情報サイト「ジモティー」等各種フリマサイトとの連携

4) 店頭回収や民間事業者による回収の積極的な活用

- (1) 行政の収集に依らない民間企業による回収の積極的な周知等
 - ・古紙及び雑がみの分別リサイクル
 - ①民間事業者による資源回収場所（資源物回収マップ）のホームページ掲載
 - ②雑がみ等の古紙分別・リサイクル徹底推進に関する取組実施業者一覧のホームページ掲載
 - ③自治会集団回収推進のため、報奨金制度の拡充
 - ・その他資源物
 - 小型家電：リネットジャパン、紙パック：テトラパック
- (2) スーパー、ホームセンター等における店頭回収にあたっての注意事項の周知

3. 事業系ごみ対策

1) 事業所でのリサイクル（古紙、雑がみ）

- (1) 家庭でのリサイクルと同様に、古紙及び雑がみの買取業者や古紙回収業者、収集運搬許可業者を利用したリサイクルの徹底
- (2) 機密文書のシュレッダー処理とシュレッダー古紙のリサイクル

2) 事業所での食品ロス対策

- (1) 業種共通の取組として、需要予測の精度向上、季節商品の完全予約制導入、余剰食品のフードバンク寄付
- (2) 食品製造業の取組として、賞味期限延長
- (3) 卸・小売業の取組として、小容量販売、ばら売り、量り売り、賞味・消費期限が近い食品の割引販売
- (4) 外食産業の取組として、提供サイズの調整、3010 運動などの食べ切り呼びかけ、ドギーバック運動など持ち帰り呼びかけ

3) 事業所訪問による事業系廃棄物の実態把握と減量の指導

- (1) 市町職員による事業所への聞き取り調査と指導

4) 市町及び組合が連携した事業系廃棄物展開検査の実施

- (1) 排出事業者の自己搬入または許可業者の搬入時に展開検査を実施し、不適正搬入の是正
- (2) 市町が不適正ごみの排出事業者または許可業者に指導

5) 商工業団体との連携

- (1) 商工会議所等と連携し、事業系廃棄物の削減や従業員教育を促進

6) 事業系廃棄物処理手数料の見直し検討

- (1) 住民負担と同様に事業者に対してもごみ減量への負担を求めるため、事業系廃棄物処理手数料の見直しを検討

4. その他

1) 経済的インセンティブを活用した減量施策の検討

- (1) エコポイント制度の導入検討
- (2) 経済的インセンティブを活用した減量施策による減量効果の検証

